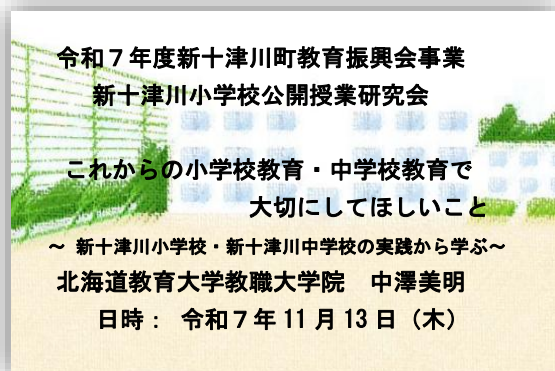


新十津川町立新十津川小学校 校内研究紹介

校長 鈴木 義樹



研究主題：「子どもたちと創る授業」
副題：～学習者主体の個別最適・協働的な学びへの転換～
教科・領域：全教科・全領域
公開研究会：11月13日(木)
参加対象：新十津川町内の小中高等学校・雨竜小中学校

～研究の概要～

本校の校内研究では、一人一人の学びを大切にしながら、協働的に深め合う授業づくりを目指し、全教職員で取り組んでいます。
目指すのは、子どもが「わかる・できる・楽しい」を実感できる授業、そして対話を通じて子どもたちの声や言葉が溢れる授業です。
今年度は「言語活動の充実」を重点に置き、子ども主体の「対話」と「振り返り」を重視しています。常に子どもの視点に立った授業構想・展開・省察を行うことで、子どもにとって真に価値のある学びを追求してまいります。

～校長所感～

今年度の公開研究会では、2年1組(体育)、6年2組(音楽)、特別支援学級(自立活動)の3学級で授業を公開いたしました。
公開授業では、「子どもが主体となって展開する授業」「子ども自身が自らの学びを自覚できる授業」という視点を大切に構成しました。当日は、日々の学習や生活の中で一人ひとりが確実に成長している姿を、参観いただいた皆様に実感していただけたことと思います。
また、講演会では、北海道教育大学旭川校 教職大学院特任教授の中澤美明氏をお招きし、「これからの小・中学校教育で大切にしてほしいこと」と題してご講演いただきました。参加した教員一人一人が自校の課題を具体的に見つめ直すことができ、子どもたちへ還元できる価値ある学びの場となりました。